

第1学年 学級活動指導案

平成28年10月20日（木）第5校時

1 議題 「できるようになったことは嬉しかったことを伝えよう」

(第1学年 ア 学級や学校における諸問題の解決)

2 児童の実態と議題選定の理由

本学級の児童は、明るく活発で、休み時間には外で元気に遊んでいる。係活動についても、休み時間等に主体的に取り組もうとする姿が見られ、わくわく係が毎週2日企画しているレク遊びでは、男女いっしょに仲良く遊んでいる。また、入院している友達や休んでいる友達の為にプレゼントを作るなど、友達を思いやる姿が見られる。その反面、自分のやりたいことに固執して譲り合えなかったり、友達にきつい言葉を言ってしまったりする場面もある。相手を思いやる気持ちを育てるとともに、学級の一員としての意識を持ち、協力し合えるように、学級のマークや歌づくりなどを行い少しずつ一体感を高めてきた。

学級活動については、年度当初にオリエンテーションを行い、学級会の意味や話合いの進め方、扱う議題などを学級全体で確かめ合い、共通理解を図った。年度当初は計画委員を作らず、担任が全ての役割を行いながら話合いを進め、段々と慣れてくるにつれて、司会は担任が行い、それ以外の役割を分担して行ってきた。また、2学期からは学級会ノートを作り話合いを進めている。これまで、「クラスの歌を考えよう」「クラスのマークをつくろう」などの議題で学級会を開いてきた。その中で、自分の意見に簡単な理由をつけて発表したり、友達の意見を聞いて賛成意見を述べたりすることが徐々にできるようになってきている。しかし、まだ生活経験や学級会の経験が浅いこともあり、発言の理由を明確に話せなかったり、自分の意見に自信がもてず、恥ずかしがって発表できなかったりする児童もいるため、発言に偏りがある。また、自分の意見に固執してしまい建設的な話合いに至ってはいない。

本議題は「お世話になっている6年生に、できるようになったことを伝えてお礼がしたい」という児童の思いから提案されたものである。児童たちは、給食の配膳やそうじを手伝ってもらったり、遊ぶ会を企画してもらったり、業間休みにも遊んでもらったりして普段から6年生にお世話になってきた。しかし、ありがとうの言葉をすぐに出せず何をするにもやってもらおうことが当たり前と感じている児童も見られる。楽しく学校生活を送ることができているのは、自分たちの力だけではなく、上級生に支えられているからだということに気づき、お世話になっている人たちへの感謝する心を育てたいと考え、本議題を司会グループとともに選定し、学級全員で決定した。

3 研究主題との関わり

互いのよさを認め、よりよい人間関係を築き、学級・学校生活を創造する児童の育成
～学級活動(1)の充実を通して～

学級活動(1)を通して、自分の思いや願いを安心して表現することのできる学級の基盤づくりを目指してきた。児童には、「みんなで楽しく、仲のよい学級をつくりたい」という共通

の思いがある。その思いを実現するために、意見を出し合い、比べ合うことは、互いのよさに気づいて認めることにつながる。さらに、身の回りの人への感謝の気持ちを伝える内容を考え、互いの意見を尊重し合いながら、集団決定をしていくことで、思いやりがあり、学級に所属感がもてる児童が育つと考える。

4 評価規準

集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
学級の身の回りの問題に関心を持ち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

5 事前の活動

月日(曜日)	活動の場	活動の主体	活動の内容	・指導上の留意点◎目指す児童の姿(評価の観点) [評価方法]
10月11日 (火)	昼休み	司会グループ 提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・提案ポストの提案をもとに議題案を確認し、選定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> (議題ポストに提案されていた議題) ①「〇〇ちゃんのたいいんをおいわいたい」 ②「ハロウィンパーティーをしたい」 ③「6ねんせいになれたことをつたえたい」 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・議題選定の視点、提案理由の意義を理解して選定できるように助言する。
10月13日 (木)	朝の会	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・議題の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会グループの提案のもと全員で議題を決定する。 ・提案された議題のよさと必要性を称賛する。
10月14日 (金)	昼休み	司会グループ 提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画の作成をする。 ・学級会の進行の仕方を確認する。 ・提案理由の練り上げ、資料の作成(提案者)をする。 ・話し合いの柱を決定する。 ・決まっていることを確認する。 ・上記事項等を背面黒板に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由の練り上げのポイントを示し、提案者の思いを深められるようにする。 ・提案者には、みんなが理解できる提案理由になるように助言する。 ◎司会グループの役割、会の進行の仕方を理解している。(知識・理解) [観察]
10月17日 (月)	朝の会	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの柱等を伝える。 ・学級会ノートへの記入をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由に沿った意見を考えられるよう助言する。 ◎提案理由に沿った自分の考えを、ノートに書くことができる。(知識・理解) [ノート]

10月18日 (火)	昼休み	司会グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会ノートに書かれた意見を整理し、短冊に記入する。 ・話合いの進め方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出された意見から話合いの見通しがもてるよう助言する。
---------------	-----	--------	---	---

6 本時のねらい

○6年生との絆を深め、感謝の気持ちが伝わるような会の内容を考えることができる。

7 展開

だい 10 かい がっきゅうかい けいかくノート 10月20日(もく) 5じかんめ

ぎだい	できるようになったことはっぴょうかいのけいかくをたてよう。		
だしたわけ	わたしたちは、にゅうがくしてから、たくさんのおおぼえて、できるようになりました。でもそれは、6ねん1くみのおにいさん、おねえさんがやさしくおしえてくれたからです。6ねん1くみさんに、ありがとうのきもちをこめて、わたしたちができるようになったことを、はっぴょうすると6ねん1くみさんもよろこんでくれるとおもうので、ていあんしました。		
だしたひと	6ねん1くみさんが、よろこんでくれるような「できるようになったことはっぴょうかい」を考えよう。		
はなしあいのめあて	6ねん1くみさんが、よろこんでくれるような「できるようになったことはっぴょうかい」を考えよう。		
しかいグループ	すすめやく	こくばんきろく	ノートきろく
	さしやく	こくばんきろく	
きまっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・11月8日(火) ロングひるやすみ ・きょうしつでやる ・プレゼントは1つ ・はっぴょうすることは、みんなでやる(3つ) 		
はなしあいのしんこう	きをつけること		
1 はじめのことば	大きなこえではっきりという。(すすめやく)		
2 しかいグループのしょうかい	1人ずつじぶんのなまえとやくわり、めあてをはっきりという。		
3 クラスのうた	クラスのうたをあかるいこえでうたう。		
4 ぎだいのかくにん	大きなこえでみんなにきこえるようにいう。(すすめやく)		
5 だしたわけのはっぴょう	だしたわけをみんなにりかいしてもらえるように、ゆっくりとせつめいする。(ていあんしゃ) みんながていあんしゃのほうをむくようにいう。(すすめやく)		
6 きまっていることのかくにん	きまっていることがかいてあるボードをさしながら、はっきりという。(こくばんきろく)		
7 めあてのかくにん	すすめやくがいったあと、あいずをしてみんなでいう。		
8 せんせいのはなし	せんせいにおねがいをする。		

<p>9 はなしあい はなしあうこと ①「なにをはっぴょう するか」 (15分) ②「プレゼントをなに にするか」 (15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・だされたいけんをまえもってたんざくにかいておき こくばんにはっておく。 ・だされたいけんをせいりしておく。 ・いけんを「くらべあう」だんかいからはなしあう。 ・だされているいけんにしつもんがあるときには、こ たえてもらう。(しつもんにかたえられる人はいま すか。) ・だしたわけをもとによりよいかんがえにしぼってい く。 ・まとめるときは、「けっていしていいですか。」 「はんたいのひとはいますか。」とかくにんする。 ・じっさいにじゅんびできるかどうかもかんがえても らう ・みんなができるだけはっぴょうできるようにする。 ・はしら②は「だしあう」だんかいからはなしあいし つもんがあったらだしてもらおう。 ・おおきなこえで、はっぴょうできるようにこえをか ける 	<p>用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たんざく ・マグネット ・とけい ・やくわりのふ だ ・さんかくのた てふだ ・めいぼ ・ストップウォ ッチ
<p>10 きまったこと の かくにん</p>	<p>わかりやすくまとめてはっぴょうする。(ノートきろく)</p>	
<p>11 ふりかえり (はっぴょう)</p>	<p>はなしあいでよかったところや『できるようになったことはっぴょうか い』でがんばりたいことはっぴょうしてもらおう。</p>	
<p>12 せんせいのはなし</p>	<p>せんせいにおねがいをする。</p>	
<p>13 おわりのことば</p>	<p>みんなをみて大きなこえでいう。(すすめやく)</p>	

8 指導上の留意点

話合いの順序	指導上の留意点 ◎目指す児童の姿(評価の観点)〔評価方法〕
1 始めの言葉	・明るい雰囲気で行えるように、笑顔で見守る。
2 計画委員の紹介	・事前に、司会・黒板記録・ノート記録それぞれにめあてを言えるよう 指示をしておく。
3 今月の歌	・学級会への意欲を高めるために、明るく歌えるようにする。
4 議題の確認	・提案者の思いや願いが伝わるよう、事前に学級会ノートに記入し配付 したり、背面黒板に記入したりして、学級全体に周知しておく
5 提案理由の発表	・全員が共通理解できるように、司会が大きな声ではっきりと発表でき るよう助言しておく。
6 決まっているこ との確認	
7 めあての確認	
8 先生の話	・提案者の思いの補足を行い、本時の目的を明確にする。
9 話合い	・話し合うわけを補足するとともに、決まっていることを確認する。
①「なにをはっぴょ うするか」	<ul style="list-style-type: none"> ・「比べ合う」段階から進められるように準備するよう伝えておく。 ・出しておいた意見に追加や質問があるか確認するよう助言しておく。 ・出しておいた意見を短冊に要約してまとめておき、黒板に貼っておく

	<p>②「プレゼントをなににするか」</p> <p>ことを確認しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問されてもわかりやすく答えられるように助言しておく。 (事前に用意できるものは司会グループに準備するよう助言しておく。) ・提案理由を意識した発言や建設的な意見、進行を助ける意見を称賛する。 ・教師が中心となり、会を進行するようになる。 ・決定に際しては、安易に多数決にならないよう注意するとともに、採用されなかった意見を出した児童にも確認するよう助言する。(反対意見がないか、忘れずに確認するよう事前に伝えておく。) ・決まったものには気持ちよく賛成するように伝える。 <p>◎集会の工夫や内容について、自分の考えを進んで発表しようとしている。 (関心・意欲・態度)〔観察〕</p> <p>◎友だちの意見を参考に新たな意見や折衷案などを提案していたり、相手を説得する意見を出していたりする。(思考・判断・実践)〔観察〕</p>
10 決まったことの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート記録に、大きな声で発表できるよう指導しておく。
11 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価では、前回と比べて成長した点を発言回数ではなく、発言内容でみるよう助言する。
12 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> ・司会グループへのねぎらい、前回からの成長した点、次回への課題を伝えるとともに、実践への期待が高まるような声かけをする。
13 終わりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動に向けての見通しを確認するよう事前に助言しておく。

9 事後の活動

日時	児童の活動	○指導上の留意点 ◎目指す児童の姿(評価の観点)〔評価方法〕
10月21日 (金) 昼休み	役割ごとの準備	○これまでの係活動や集会等の準備を想起させ、協力して準備ができるよう助言する。
10月25日 (火) 帰りの会	準備の途中経過の報告	○役割ごとに準備状況を報告させ、意欲の継続化を図る。
10月27日 (木) 昼休み	役割ごとの準備	○意欲的に活動している児童や、協力して活動している児童、工夫して活動している児童を称賛する。
11月8日 (火) 帰りの会	活動の振り返り	○提案理由にもとづいた活動の振り返りを行い、互いのよさや頑張りに気付くことができるようになる。 ◎集会のめあてを意識し、友達と協力して実践しようとしている。(関心・意欲・態度)〔観察・振り返りカード〕